

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年4月18日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県小浜市飯盛第24号26番地の1

氏名 AGC若狭化学株式会社
代表取締役 坂田 和久

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0770-53-1402

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	AGC若狭化学株式会社 小浜工場
事業場の所在地	福井県小浜市飯盛第24号26番地の1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E16 (化学工業)
②事業の規模	11,806百万円 (前年度生産高実績)
③従業員数	156人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>■廃アルカリおよび汚泥：焼却後の残渣はセメント原材料として再生利用。一部、管理型埋立処分場にて埋立処分。(水系は噴霧燃焼処理)</p> <p>■廃プラ：選別しプラスチック原材料としたり、道路補修剤として再生利用。</p> <p>■廃油：助燃材として噴霧燃焼処理。焼却後の残渣はセメント原材料として再生利用。一部、管理型埋立処分場にて埋立処分。</p> <p>■木くず：再生利用。</p> <p>■廃ガラス：破碎後、管理型埋立処分場にて埋立処分。</p>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	-
	排出量	- t	-
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり	-
	排出量	- t	-
	(今後実施する予定の取組) -		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類および分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■屋外2種類・建屋内11種類に分別し他の廃棄物が混入しない様に保管 ■プロセス廃水関係：40m³の貯槽タンクを設置し種類別に保管。
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■現状取組の継続。



別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラ	廃油	木くず	廃ガラス
	排出量	1,985 t	24 t	20 t	1 t	4 t	2 t
	（これまでに実施した取組） ■水を再利用したプロセスの改良。 ■再生利用可能な業者への委託とリスク低減化対策。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラ	廃油	木くず	廃ガラス
	排出量	2,200 t	30 t	25 t	2 t	5 t	3 t
	（今後実施する予定の取組） ■引続き、プロセスの改良。 ■リスクの低減化。 上記の取組を継続する。						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) -		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組) -			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組) -			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	-	t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	-	t
	(今後実施する予定の取組) -		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	-
	全処理委託量	-	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	-	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	-	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	-	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	-	t
(これまでに実施した取組) -			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり
	全処理委託量	- t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t
(今後実施する予定の取組) -		
※事務処理欄		

—
—
_—
—
t
—
t
—
t
—
t
—
—
—
—
—
—
—
—
—
—
—
—

別紙②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラ	廃油	木くず	廃ガラス
	全処理委託量	1,985 t	24 t	20 t	1 t	4 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,985 t	24 t	16 t	1 t	4 t	2 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	4 t	0 t	0 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	- t
	（これまでに実施した取組） ■水を再利用したプロセスの改良。 ■再生利用可能な業者への委託とリスク低減化対策。 ■コピー用紙削減、電子ファイル化。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃プラ	廃油	木くず	廃ガラス
	全処理委託量	2,200 t	30 t	25 t	2 t	5 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,200 t	30 t	20 t	2 t	5 t	3 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	5 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ■引続き、プロセスの改良。 ■リスクの低減化。 ■電子ファイル化。 上記の取組を継続する。						